

(様式 1 - 3)

亶理町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 25 年 6 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	43	事業名	地域資源活用総合交流施設整備事業	事業番号	C-2-3
交付団体	亶理町		事業実施主体 (直接/間接)	直接	
総交付対象事業費	295,039 (千円)		全体事業費	295,039 (千円)	
事業概要					
<p>震災により滅失した水産センター (調理室、直販所、会議室、救難所) の復旧整備に併せ、同様に被災した鳥の海温泉内に設けていた “ふれあい市場” (直販所) を統合し、“水産センター (仮称)” として整備するもの。</p> <p>施設を集約することで効率的に地場産品等の直売が可能になるほか、今後復旧を予定している鳥の海温泉施設と併せて亶理町の復興 (農業、水産業、観光) の柱とすることにより、震災前以上のにぎわいと雇用を創出し、亶理町震災復興計画の基本方針の 1 つである 『「なりわい」と「にぎわい」のまちづくり』を目指す。</p> <p>亶理町震災復興計画 該当箇所： P 35 2) 水産業の復興</p> <p>施設概要：鉄筋コンクリート 3 階建て、延べ床面積 977.88 m<sup>2</sup> (交付金申請面積 644.65 m<sup>2</sup>)</p> <p>1 階・・・調理室 (地元の魚を活用)、直販所、放射能測定室、地場産品販売所 2 階・・・救難所、会議室、漁協事務所 3 階・・・津波観測局舎</p>					
当面の事業概要					
水産センター 調査・測量・設計委託料 21,490 千円、 施工管理費 6,162 千円、 工事費 267,387 千円					
東日本大震災の被害との関係					
<p>亶理町の水産センターは荒浜漁港に立地していたため、多くの漁業関連施設 (被害額は漁港施設及び漁業関連施設で約 226 億円) とともに被災を受けた。被災前の水産センターの利用状況については、漁業者の研修・救難所の運営等に加え、漁業者の婦人の方々が中心となり地元で獲れた魚を研究、開発し、加工品 (10 品目以上) として、「浜っこあちゃん市」にて販売を行い、地元住民のみならず観光客も含めた多くの人が集い賑わう拠点であった。</p> <p>現在、海岸堤防等の漁港施設整備が進んでいるものの、荒浜漁港周辺における第 2 次・第 3 次産業の復興は、ほぼ進んでいない状況にある。今後、亶理町震災復興計画に基づき施設整備を行われるが、人と人との交流を促進し、「活力と賑わいの町」を再建させるため、水産センターの早期復旧が必要不可欠である。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	